

会派の意見

9月定例会を振り返って

自由民主党・中道の会

「自由民主党・中道の会」結成から早くも約半年が経過いたしました。

新型コロナウイルス第9波の感染拡大や線状降水帯の発生による豪雨などもありましたが、よさこい祭りをはじめとする観光イベントや地域での活動も徐々に再開され、にぎわいが戻ってきていることを肌で感じられるようになってまいりました。

9月定例会においては、老朽化した六泉寺町・北百石町・丸池町の3つの市営住宅団地の統合建て替えに向けた六泉寺町市営住宅等再編事業、内水対策としての春野町仁ノ地区排水路整備事業、お母さんたちの利用需要増加に対応するための産後ケア事業費に関する補正予算等が全会一致で可決されました。引き続き、市民の皆さまに寄り添った適切な対応を行ってまいります。

また、9月定例会は昨年度1年

間に執行された予算である令和4年度決算について審議するタイミングでもあります。4年度の当初予算は「コロナに打ち克ち絆をつなぐ、共生と安心のまちづくり」をテーマに編成され、エネルギー・物価高騰対策や新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組んでまいりました。私どもとしては、慎重な審議の結果、決算の認定議案について認定すべきと考え賛成討論を行いました。

年末に向けてウインターナイトキャンペーンを開催する予定ですので、ぜひ多くの市民の皆さまにお越しいただければ幸いです。

市民クラブ

中学生までの医療費助成

来年4月から！

今年5月の連休明け、新型コロナウイルス感染症は5類に移行となり季節性インフルエンザと同様の扱いになりました。経済活動、市民生活など全ての営みをコロナ前に戻そうと動き始めたもののウクライナ・ロシアの間に終わりは見えず、その影響を受け派生した物価高騰は止まりません。国の支援も徐々に打ち切られ、高知市財政は再び厳しさを増しています。

9月議会では、長尾和明議員の

質問に対して、「中学生の医療費無償化」を引き出すことができずした。また、神岡俊輔議員、伴武澄議員、岡崎邦子議員が各自の専門分野を生かしつつ質問戦を展開しました。今後も現場からの声を頂きながら確かな質問を執行部にぶつけ、共に汗をかき市民生活の向上を図っていきます。

公明党

今後の市政運営

9月議会は令和5年度補正予算その他の議案に加えて4年度の決算認定が審議されました。

また、岡崎市政5期目4年間の最後の議会となり、一般質問では岡崎市長の政治姿勢等について多くの質問が相次ぎました。

今後の市政運営では、財政健全化を柱として引き続き物価高騰対策や子育て支援の拡充など喫緊の課題が山積し、市長の役割はさらに重要になってきます。

高知市議会公明党は、市長に対して是々非々の立場で臨み、子ども医療費助成の拡充や人口減少問題、高齢者施策の充実など、市民の希望と安心を高めるため皆さまの声を聞かせていただき、現場第一で課題に取り組んでまいります。

日本共産党

今議会、わが会派が強く要望してきた、子ども医療費無料制度の中学卒業までへの拡充について、岡崎市長から新年度に向けて実施するとの明確な答弁がありました。この間、市民と共に署名運動などに取り組んできた成果です。質問戦では、介護保険料の引き下げなどを求めました。

補正予算では、子育て支援として産後ケア事業費の増額、妊産婦に対する国保保険料の免除制度創設などを評価し賛成しました。

西敷地利活用に、業者が選定されれば必要となる借地契約までの業務等として477万円余りが支出されました。この決算については、業者を選定せず実施し得ない業務に対しての過大な支出であり、認定に反対しました。

参政党

9月議会において12年ぶりに一般質問をさせていただきました。党が強く訴えているのは、全国一斉に9月20日から接種が始まりましたXBBワクチンの副反応、後遺症の問題です。市民が正しい判断をできるように、接種のメリット、デメリットの開示を求めます。